

NAGE - STYLE 第8投目 修行の旅 (熊野市波田須・二木島阿古師)

5月の連休も終り、これからは夏の魚を狙う時期。私にとってはカワハギの残りD1とキューセンCとDのランクを埋めなければなりません。カワハギはともかく、キューセンはABだけでも78匹釣ってますがCから上は1つだけ。ヒラメ以上に毎年、かなりの回数、行ってるにも係わらず縁がありません。私にとっては永遠のランクかも知れませんが号数を延ばす以上は避けては通れません。ヒラメ釣りで根性も付いたので(笑)とことん行きましょう。と、言う訳で今回は古い釣り場ですが熊野の波田須と二木島町阿古師に行ってみました。波田須は以前のブログにも書きましたが夏の暑い盛りに探し当てたポイント(結局、大阪のクラブの方も竿を出していたそうですが)で二木島町阿古師は尾長ノドクサリの聖地でそれ以外にもキューセンやキスのCも多数釣り上げられていますが、最近はやはり、パツとしません。それでも行きたくなるのは昔付き合っていた彼女の面影を思い返すようなものでしょうね。未練?忘れられんのですわ(笑)

どちらのポイントも渡船ではなく歩いていくポイントで、波田須はそんなに険しい道のりではありませんが約15分程度。阿古師は、後ほど書きますが、半端な道のりではありません。普通の方は途中で行き倒れになるでしょう(笑)

まずは波田須のポイントへ。



42号線手前にあるコンビニで3時間ほど仮眠して夜明け前から釣り場に入りました。通いなれたポイントですがここ、3~4年は釣り場に入っていません。釣れるでしょうか?水深は20Mほどなので釣れ始めは早くは有りません。陽が上がってからで十分ですが竿釣りの方が多いため早めに入る必要があるのです。竿を出してから2時間ほど経ちますが何のアタリも有りません。ここは本命はともかくイソベラやキタマクラが異常に多くて2本の竿でも忙しいほどなのですが、エサも取られず仕掛けが帰ってきます。



8時過ぎ、やっとカワハギ君登場。でも寸タラ



1時間ほど後に待望のキューセン！でも、これも寸タラ。

以前はこのサイズが赤ベラでしたがこのサイズで青ベラなら今後は期待薄かも知れません。成長を期待してそっとリリースしましたが、その瞬間に後ろからバタバタと大きな羽音がした途端、トビが波間に浮いているキューセンを捕まえて林の中へと消えていきました。こら～！こいつです。



簡単なランチの後はいよいよ、本日のメインイベント！阿古師の岩場です。



写真、真ん中辺りの岩場がポイントでその手前の入り江に写ってはいませんが有名な阿古師神社があります。意を決して荷物をまとめて出来る限り軽量で挑みます。



竿3本にリール3台、錘10個、飲み水1L 等等



下り坂です。約1キロ20分で神社前に着きます。



この鳥居前の波止場が尾長ノドクサリの有名ポイントでした(過去形)



でも、私が目指しているのは先の岩場。ここから約10分ほど。
ですが、これがきつい!



手前に強烈な駆け上がりとしモリが見えているでしょう？これを越えなきゃならないのです。一気に巻きですわ！



潮は干潮から満ちあげに入ってます。潮が高くなると手前のかげが上がりでどうにもならないのです。それにしても久しぶりに良く歩きました。ちなみに写真中央、やや右上に緑の中に色の変っている所が私の車です。どれだけ歩いてきたか判るでしょう。暫くはトラハゼばかりでしたが潮が高くなってきてやっとアタリが！



なんとかありそう（笑）



連発してやっぱり寸タラ（涙）

肝心の本命は全く姿を見せません。て言うか居ない？

潮が上がってきて岩場の後ろまで水が上がって来ました。これ以上、潮が高くなると帰れなくなるかも知れないので納竿しようかと考えていた時にはっきりしたアタリが！

すかさず合わせます！水深も有りますがかなりの抵抗です。ググッと魚の引きも。待望のキューセンCか。強烈でも無くそれなりに締め込みも有ります。遂にやったか！竿を高く上げて必死に一気に巻きです。駆け上がりを過ぎた辺りで魚が見えましたが緑色ではなく赤い！？タイ？ところが上がってきたのはこいつ。ホンマにイラン奴ですわ～。ガッカリ。



と言う訳で今回の修行の旅は終り。帰りは40分もかかり元来た道を汗だくになりながら帰りました。お陰で今日は膝はガクガクでふくらはぎはパンパン。

釣ればこんな痛みも快感なんですネエ。55歳にもなって1日2ラウンド山を降りるのは私ぐらいでしょう（笑）



修行の旅はまだまだ続く。